

学 校 名	東京学芸大学附属小金井中	実施年月日	平成17年 2月18日
指 導 者	村野芳男	授業コード	M-6
学 年	1学年	教 科	社会科
単 元 名	世界の国々調べ (2) アメリカ合衆国を調べる		
単 元 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 超大国アメリカ合衆国の多様性（自然・民族・文化・産業など）と統一性に興味を持ち、意欲的に調べようとしている（関心・意欲・態度）。 ・ 超大国アメリカ合衆国の持つ世界への影響力の源泉を具体的な資料を基に多面的・多角的に考察している（思考・判断）。 ・ 様々な資料を関連させて、アメリカ合衆国の持つ特色、大きさの考察に役立てている（技能・表現）。 ・ アメリカ合衆国の多様性・先進性などについて具体的に理解し、知識として身に付け、それを利用して自分なりのアメリカ合衆国像を説明できる（知識・理解）。 		
単元の指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界への影響から見たアメリカ合衆国（学習課題をつかむ） ・ 農業から見たアメリカ合衆国 ・ 工業から見たアメリカ合衆国（本時） ・ 人々の生活から見たアメリカ合衆国 ・ 民族の構成から見たアメリカ合衆国 ・ 自分なりのアメリカ合衆国像を描こう 		
本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ合衆国の工業が世界をリードする工業に成長した理由を考えさせる ・ アメリカ合衆国の工業地域分布の特色とその要因をつかませる 		

本時の学習活動の展開

導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクターで投影されたスペースシャトルの映像を見て感想を述べ合う。 <p><教師>スペースシャトルってどういう意味？</p> <p><生徒>宇宙バス・宇宙船・・・</p> <p><教師>スペースシャトルの優れたことってどこ？</p> <p><生徒>・・・・・・・・？</p> <p><教師>スペースシャトルはアメリカの何を象徴する？</p> <p><生徒>技術水準の高さ・・・・最先端技術・・・・</p> <p><教師>アメリカの科学技術の高さを示すとともに、アメリカの工業力とくに先端工業力の水準を示している。</p> <p><学習課題> アメリカ合衆国が世界最大の工業国となった理由を考えよう</p>
-----	--

<p>展開</p> <p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題について自分の予想をノートに書く。 ・ 自分の予想を発表する <生徒>・土地が広いから ・資源が豊富に有るから ・人口が多い・・・・？ ・ 予想について話し合う。予想を検証する資料を探す。 理由1 資源が豊富…地図帳P44-2、デジコン（石炭・石油・天然ガス） 五大湖沿岸工業地域を例に、資源と工業生産の結びつきについて考える ・ その他の要素について、教師の話聞く 広く豊かな市場…合衆国の人口、一人当たりの国民所得 合衆国政府…膨大な軍事費 海外へ進出…多国籍企業…マクドナルド（地図帳P45）、コカ コーラなど 科学技術が発展…移民国家…世界各地から優秀な人材が集まる …シリコンバレー…大学との連携（デジコン） …軍事技術→民需に応用 ・ 地図帳P44「鉱工業」を見て、五大湖沿岸工業地域以外の工業地域を拾い出し、 その特色を読み取る ・ アメリカ工業地域の変化を地図帳で確認する フロスベルトからサンベルトへ（工業地域の変化） 鉄鋼業・機械工業→石油化学工業・先端技術工業 ・ 地図帳（P44）「日本の工場の進出」を見て気づいた事を発表する アメリカの輸入超過 大きなアメリカ市場を目指して ・ アメリカ合衆国が世界最大の工業国になった要因を自分なりに整理する
<p>デジタルコ ンテンツの 利用計画と 利用主旨</p>	<p>今回のコンテンツは動画を利用した。導入としてスペースシャトルの打ち上げ場面を提示し、生徒に興味関心を持たせるとともに、その興味・関心をアメリカ合衆国の工業力を示すものとして捉えさせ、アメリカ合衆国の工業が先端工業を中心に世界のトップレベルにあることを統計数字でなく実感させることで、なぜアメリカ合衆国が工業先進国になったのかという課題意識をもたせることをねらった。さらに、航空機工業などアメリカが世界をリードしている事例をやはり動画で示すことで、より確かな認識を持たせようとねらった。</p> <p>http://203.141.154.143/geography/nation.exe/File?nation=1&cmode=2</p> <p>また、統計類は下記より取得した。</p> <p>東京電力・見たい・知りたい！電気とエネルギー http://www.tepco.co.jp/learn/index-j.html</p> <p>静止画は帝国書院HPより「写真で見るアメリカ各地の様子」 http://www.teikokushoin.co.jp/</p> <p>静止画は、写真ボードやスライド等いろいろな教材が開発されていて、デジタルコンテンツにこだわる必要はないが、インターネットで検索でき新しい情報を入手できるなど教材研究に幅ができる利点がある。</p>

